

## 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議

## 趣旨

「できるだけダムにたよらない治水」への政策転換を進めるとの考えに基づき、今後の治水対策について検討を行う際に必要となる、幅広い治水対策案の立案手法、新たな評価軸及び総合的な評価の考え方等を検討するとともに、さらにこれらを踏まえて今後の治水理念を構築し、提言する。

## 主な検討事項と論点

## 幅広い治水対策案の立案手法

○ダム整備にたよらない方法を必ず含めて複数の治水対策案を立案する。

## 新たな評価軸の検討

○治水対策案を比較するために、これまでの評価軸に加え、時間的・財政的な制約等を加味した新たな評価軸を検討するとともに、それぞれの評価軸の優位性や限界等について、必要に応じケーススタディー等を実施しつつ検討する。

## 総合的な評価の考え方の整理

○定性的な評価しかできない評価軸の扱いを含めて、総合的な評価の考え方を整理する。

## 今後の治水理念の構築

## 構成、スケジュール

座長：中川博次 京都大学名誉教授はじめ、計9名で構成

- 平成21年12月3日(木)に第1回を開催し、これまでに計12回開催
- 平成22年9月27日に中間とりまとめを公表  
(平成22年9月28日に国土交通大臣から地方整備局、道府県等に  
検討を指示又は要請)
- 平成23年夏頃に提言

「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」委員

宇野 尚雄 岐阜大学名誉教授

三本木 健治 明海大学名誉教授

鈴木 雅一 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

田中 淳 東京大学大学院情報学環  
総合防災情報研究センター一長・教授

辻本 哲郎 名古屋大学大学院工学研究科教授

◎中川 博次 京都大学名誉教授

道上 正規 鳥取大学名誉教授

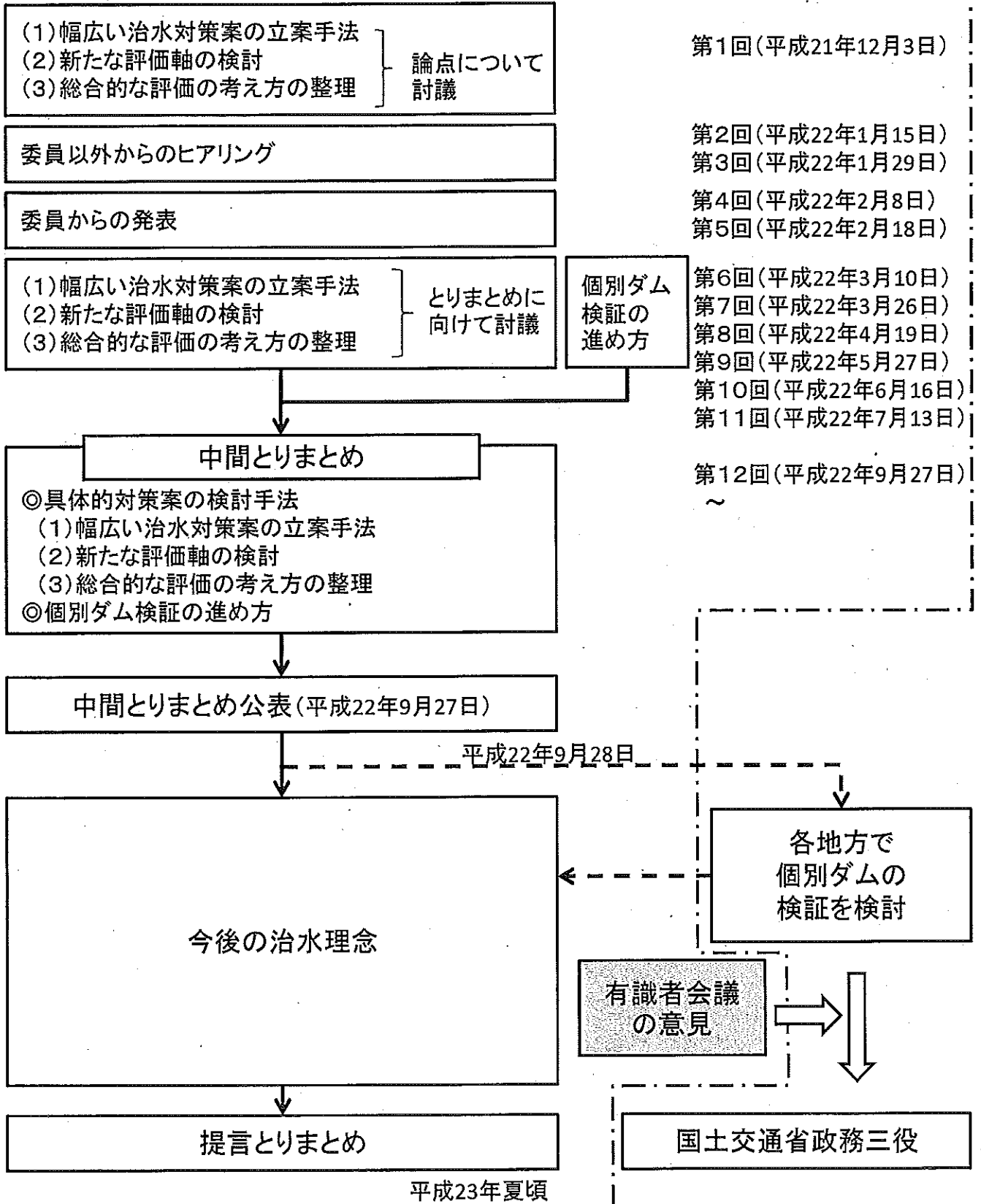
森田 朗 東京大学大学院法学政治学研究科教授

山田 正 中央大学理工学部教授

◎：座長  
(敬称略、五十音順)

## 討議スケジュール(案)

### 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議



※スケジュールは現時点の案であり、今後の会議の議論等によって変わる可能性がある。

<参考資料>

今後の治水対策のあり方に関する有識者会議のこれまでの経緯

第1回 平成21年12月 3日 ・規約について ・今後の治水対策のあり方について
第2回 平成22年 1月15日 ・委員以外からのヒアリング (嶋津氏) ・今後の討議に向けての主な論点 ・意見募集について
第3回 平成22年 1月29日 ・委員以外からのヒアリング (宮村氏) ・今後の討議に向けての主な論点
第4回 平成22年 2月 8日 ・委員からの発表(宇野委員、鈴木委員、田中委員、辻本委員)
第5回 平成22年 2月18日 ・委員からの発表 (三本木委員、道上委員、森田委員、山田委員)
第6回 平成22年 3月10日 ・委員以外からのヒアリング (太田氏) ・意見募集の結果について (速報) ・治水対策の方策について
第7回 平成22年 3月26日 ・意見募集の結果について ・治水対策案の立案及び評価について
第8回 平成22年 4月19日 ・利水の観点からの検討 ・個別ダム検証の進め方等
第9回 平成22年 5月27日 ・総合的な評価の考え方等 ・中間とりまとめ骨子 (案)
第10回 平成22年 6月16日 ・ケーススタディ ・中間とりまとめ (タタキ台)
第11回 平成22年 7月13日 ・中間とりまとめ (案) ・意見募集
第12回 平成22年 9月27日 ・中間とりまとめ

# 今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめの概要

## 第1章 今後の治水対策の方向性

- 1. 1 財政逼迫等の社会情勢の変化
- 1. 2 治水目標と河川整備の進め方
- 1. 3 計画上の整備水準を上回る洪水への対応のあり方
- 1. 4 流域と一体となった治水対策のあり方
- 1. 5 既設の施設の有効活用と機能の向上

## 第2章 個別ダム検証の理念

- 2. 1 検証の背景
- 2. 2 検証に当たっての基本的な考え方

## 第3章 3. 2

### 国土交通大臣が個別ダム検証の検討を指示、要請

